



# 鶴居村森林組合

## 100年先を見据えた森林管理技術

お問い合わせ Tel 0154-64-2422 Fax 0154-64-2425  
HP : <https://tsuruimurashinrink.wixsite.com/tsuru-mori>



## 森と共に生きる持続可能な林業

鶴居村は総面積の64%にあたる約3万7千haを森林が占めており、うち7割は私有林で成り立っています。所有者は個人から製紙会社などさまざまです。鶴居村森林組合では私有林のうち約1万9千haの適性管理を行っています。主な仕事は木の苗を植えて森をつくる造林、植えた苗を必要な大きさまで育てる保育、木々を伐採し森を整理する間伐です。間伐した木々は年間約1万5千m<sup>3</sup>になり、サイズによって住宅の柱や牛舎で使われるおがくずなど用途に合わせて使われています。間伐量は今後少



しずつ増やしていく予定です。春は植林の季節。成長が早く良い木に育ちやすい、カラマツやクリーンラーチなどを育てています。



### 会社概要

法人名：鶴居村森林組合  
〒085-1200  
北海道阿寒郡鶴居村字雪裡原野  
北15線西9番8

創業年：1943年  
代表者：代表理事組合長 松井洋和  
従業員数：14名

### 一言PR



門間 孝巖  
参事

私たちの組合では10年前に森林林業再生プランを実施し、安全管理、作業システムの改善など大幅な改善を行いました。その際、林業先進国であるドイツやオーストリアのフォレスター(林業家)との技術交流を経て、長期的に安定した森林経営を行う方針へと切り替えています。



## 人材不足を招かない雇用体制

木を伐採する林業労働者は季節雇用や臨時雇用が一般的で、担い手不足とされています。しかし同組合では正社員として雇用するなど環境整備に力を入れています。そのため高齢化が進む業界ながら全国から森林整備に関わりたいという若者が訪れ、平均年齢20歳代という組合体制を叶えています。



## SDGsにつながる 持続可能な林業構想

同組合では「将来の木施業」を推進しています。欧州で導入されている考え方で、優良木を決められた直径まで育てることを目標として、障害となる木を間伐するもの。できる限り人の足で山に分け入り、将来的には優良大径木の森林を形成する計画です。



## 全国に誇る林道整備

同組合の林道は、全国でも珍しいほど整備体制を徹底しています。例えば林道自体の横断勾配は10%、路肩から道路中央の高さは15cm、50m~100mごとに流水を処理するための排水管を設置しています。整備の徹底により林道が崩れにくく機械がぬかるみにはまったりすることもないため、日頃の作業効率をあげることにもつながっています。また、整備の行き届いた林道はマウンテンバイクなどのアクティビティにも適しており、今後の利用が期待されます。



## 作業システム全体の効率化

森林・林業再生プランにより管理体制も見直されました。林道を整備したことで、上方の林道から伐採した木をウインチで引き上げて、トラクターに取り付けたグラップルで集める体制を確立。ブルドーザーで集材を行っていた以前より、作業の安全性が高くなり、時間的にも効率が上がっています。

